

Yoshio WATANABE

10/23 Thu. 16:00-18:00

海外の多文化状況から日本を考える

～カメルーン、中国、ブラジル、沖縄の調査経験から～

司会：増田 研

國學院大學文学部教授（社会人類学、東アジア研究、日本文化人類学会元会長、東京都立大学名誉教授）
著書に『沖縄の社会組織と世界観』（新泉社 1985年）、『沖縄の祭礼—東村民俗誌』（第一書房 1987年）、『風水思想と東アジア』（人文書院 1990年）、『民俗知識論の課題—沖縄の知識人類学』（凱風社 1990年）、『漢民族の宗教—社会人類学的研究』（第一書房 1991年）、『風水—気の景観地理学』（人文書院 1994年）、『風水の社会人類学—中国とその周辺比較』（風響社 2001年）など。

渡邊 欣雄

Masami KODAMA

11/6 Thu. 16:00-18:00

EU研究の魅力

～多文化の尊重と統合への挑戦～

司会：森川 裕二

久留米大学法学部教授（政治学、日本EU学会元理事）
著書に『現代国際関係の基礎と課題』（建帛社 1999年 共著）、『欧州議会と欧州統一—EUにおける議会制民主主義の形成と展開』（成文堂 2004年）、『EUヨーロッパ統合の政治史—その成功と苦悩』（日本放送出版協会 2010年）

児玉 昌己

Kazuhisa NISHIHARA

11/7 Fri. 16:00-18:00

社会学の視点から多文化社会を問い直す

～方法論的トランスナショナリズムの射程～

司会：葉柳 和則

名城大学社会イノベーション学部教授（社会学、日本社会学理論学会元会長、日本社会学会理事、名古屋大学名誉教授）
著書に『意味の社会学—現象学的社会学の冒険—』（弘文堂 1998年）、『自己と社会—現象学の社会学理論と〈発生社会学〉』（新泉社 2003年）、『水・環境・アジア』（新泉社 2007年 編著）、『間主観性の社会学理論—国家を超える社会の可能性』（新泉社 2010年）、『現代人の社会学・入門—グローバル化時代の生活世界』（有斐閣 2010年 編著）など

西原 和久

多文化状況を
前景化する

長崎からの発信

長崎大学 多文化社会学部

連続講演会

会場（各回共通） 長崎大学文教キャンパス 総合教育研究棟 2階 多目的ホール

問い合わせ先：多文化社会学部総務班 電話 095-819-2934